

R. 男性女性の役割

神は、人を三位一体であるご自身に似せて、相互に愛し合う存在として創造されました（創世記 1:27）。その中でも、より特別に愛し合う存在として、夫婦、家族、民族などがあります。

1. 男性・女性の存在と役割

父なる神と子なる神が、全く等しく神であり、全く同じ重要度を持つように、男性と女性は性質の違いがあっても、人間としての**価値において全く等しい**(男女同権の思想は、キリスト教世界の中から生まれた)。そして、父なる神と子なる神が一体である神の内において異なる役割を受け持つように、男性と女性も**異なる役割**を受け持つ。

2. 教会における男性と女性の役割

(1) 兄弟の役割

- ①御言葉を教える（1 コリント 14:26～34）
- ②公に祈る（1 テモテ 2:8～12）
- ③牧会者（1 テモテ 3:1～7） *執事は、男性女性両方ある（8～12 節）

(2) 姉妹の役割

- ①助け手としての働き（創世記 2:18 ルカ 8:1～3）
- ②家庭を通して神の栄光をあらわす（1 テモテ 5:9～10 使徒 12:12; 18:1～3）
- ③従順をはじめとする内面から来る美によって飾る（1 テモテ 2:9～12）

かぶり物(1 コリント 11:4-10) 上の(1)で見たように、教会の公の集まりにおける御言葉から教える働きと代表の祈りは男性の役割とされており、女性がこれらの役割を代りに行う場合は、権威委譲の印としてかぶり物を着けます。前橋キリスト集会では、キリスト教会がその初期より約2000年間、礼拝時にかぶり物を着けてきたという歴史を重んじ、権威委譲時の他に、パン裂き礼拝の時にも着用することにしています。

3. 夫婦における夫と妻の役割

(1) キリストと教会を現わすという目的・任務

そのためには、まずキリストがどういう方であるかを御言葉から知る必要がある

(2) 夫：愛する（エペソ 5:25）

- ①その人に心を定める（ヨハネ 6:39）
- ②自分の妻と共に霊的に成長するために何が必要か考え、期待する（エペソ 5:26,27）
- ③自分の妻に話しかけ、言葉に耳を傾けられるための時間を確保する（エペソ 5:28）
- ④本当の愛には強さと優しさの両方が必要。真に愛することにより、その両方が育まれる

(3) 妻：従う（エペソ 5:23）

- ①能力の有無にかかわらず、夫にはその権威が与えられていることを主の前で確認する
- ②意見を述べ、判断の材料を与え、一旦手放す。また判断を狂わせる要素を注意深く避ける
- ③従うことは、サタンが家庭に、さらには教会に侵入することを防ぐ大きな力（創世記 3:6）
- ④他人の前で（特に子供の前で）夫を批判することは、絶対に避ける